

もの忘れ・認知症 の備え方

高齢になると、もの忘れや認知症は避けられません。
最近「備え」の重要性が指摘されています。そこで、各種の便利グッズを使ったさまざまな「備え」の方法などを紹介します。元気なうちから前向きに備えましょう。どなたでもご参加いただける内容となっております。
お気軽にご参加ください。

日時	2019年9月8日（日）	13:30～16:30
参加費	無料	※予約不要：先着400名まで
内容	13:30 開会 13:40 講演 講師：安田清氏 (NPO法人一歩一歩理事、斎賀医院、大阪工業大学/京都府立医科大学兼務。言語聴覚士。博士(学術)) 『もの忘れ・認知症に前向きに備えよう』 長年、千葉ろうさい病院のもの忘れ外来で記憶障害や認知症の人のリハビリに従事しつつ、生活支援のための専用日記帳やメモ帳などのさまざまな便利グッズを開発。工学系の大学とも共同研究。 最近、「MCI・認知症のリハビリテーション：Assistive Technologyによる生活支援」をエスコアール社から刊行 15:10 紹介① 講師：青木三郎氏 (傾聴の会ひだまり代表、テレビ電話話し相手ボランティア) 『傾聴活動とテレビ電話支援会の紹介』 高齢者や障害のある方に対し、心を澄まして話をきくボランティアの会を主宰。数年前より、認知症の人とボランティアがテレビ電話で話を聞いたり、一緒に歌を歌うなどのいわば遠隔“傾聴”も行っている。 15:30 紹介② 講師：川村悠氏 (おゆみの中央病院 理学療法士) 『シニアリーダーともの忘れアドバイザー養成講座』 千葉市では、地域の介護予防を推進するシニアリーダーを育成しており、平成31年3月現在、746人が市内191カ所で体操教室を運営している。今回、シニアリーダーたちがさらに「もの忘れ対処法」を学び、もの忘れアドバイザーとしての活動を開始している。 15:50 質疑応答 16:20 閉会	
会場	市原市市民会館 〒290-0023 市原市惣社1-1-1 ～お願い～公共交通機関をご利用しお越してください。 ○収容台数に限りがあること ○会場は他のイベントも開催していること 上記のことから公共交通機関のご利用を強くお奨め致します。	

